



水道技術管理者資格取得講習会（大阪会場：10月25日～11月15日、
オンライン第2回：10月30日～11月21日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、大阪会場：72名、オンライン第2回：84名の参加を得て、「水道行政・水道経営」、「水質管理・公衆衛生・衛生管理」、「水道基礎工学概論」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は、この後に「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する汙過設備を有する水道施設において、15日間の実務講習を行う。

第183回水道技術管理者協議会（11月9日、10日）

初日は、開催地である北海道苫小牧市の木村副市長及び本協議会正・副議長挨拶の後、苫小牧市佐藤水道課水道管理主幹より「苫小牧市水道事業の概要について」、本協会 本荘谷工務部長より「水道を取り巻く環境の変化について」の発表を行った。

翌10日は、苫小牧市高丘浄水場の視察を行った。

第776回抄録委員会（11月13日）

本誌1月号・2月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。



第189回水道 GLP 認定委員会（11月22日）

水道 GLP 認定について審議した結果、福山市上下水道局（JWWA-GLP027）及び株式会社エオネックス（JWWA-GLP121）の認定更新を決定した。

また、一般社団法人山梨県食品衛生協会（JWWA-GLP046）、沖縄県企業局（JWWA-GLP049）、倉敷市水道局（JWWA-GLP057）、岡山県広域水道企業団（JWWA-GLP102）及び一般財団法人広島県環境保健協会（JWWA-GLP133）の認定維持を決定した。

水道技術者研修会（Aコース：11月14日～17日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々84名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「導・送・配水施設」、「水源・取水・貯水施設」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理」、「給水装置」について研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第4回：11月14日～17日、

第5回：11月28日～12月1日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々28名（第4回：13名、第5回：15名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

漏水防止講座（大阪会場：11月28日～30日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々29名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「配水量分析」、「漏水防止対策」、「事故事例・安全対策」、「管路の情報管理」、「漏水探査」、「管路の保全対策と修繕」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

令和5年度第3回運営会議（11月28日）

本協会の青木理事長が議長となり、報告事項1「水道行政の移管に向けた検討委員会の活動状況」、報告事項2「令和5年度日本水道協会全国会議の実施状況」、報告事項3「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項4「令和6年度日本水道協会研修会開催予定」、報告事項5「第9回IWA（国際水協会）-ASPIRE（アジア太平洋地域）会議・展示会概要報告」について事務局から報告があった。



続いて、第1号議案「日本水道協会第103回総会会員提出問題の処理等」、第2号議案「令和6年度日本水道協会全国会議の開催期日及び会場」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、地元選出国會議員、関係省庁等に対し陳情を行った。



自由民主党厚生関係団体委員会委員長
大串衆議院議員への陳情



自由民主党水道事業促進議員連盟事務局長
務台衆議院議員への陳情



公明党上水道事業促進委員会委員長
秋野参議院議員への陳情



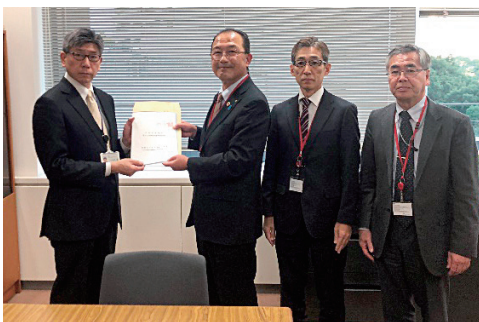
公明党上水道・簡易水道整備促進議員懇話会幹事長
横山参議院議員への陳情



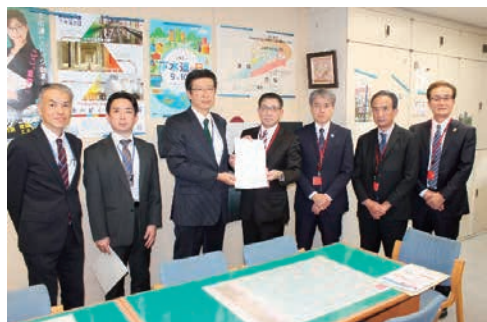
こやり国土交通大臣政務官への陳情



名倉厚生労働省水道課長への陳情



中井総務省自治財政局官房審議官への陳情



松原国土交通省下水道部長への陳情



和田環境事務次官への陳情



上田環境省大臣官房長への陳情



土居環境省水・大気環境局長への陳情

令和6年度水道関係政府予算対策室（11月29日）

令和6年度水道関係補助金・交付金概算要求額459億円の満額確保等に加え、水道事業が抱える課題解決に必要な予算の確保に向け、「令和6年度水道関係政府予算対策室」を設置した。



第165回水道事業管理者協議会（11月29日）

はじめに、静岡市上下水道局森本上下水道危機管理課長より「令和4年台風第15号被災時の応急給水活動について」をテーマに講演を行った。

次に、メンバー都市から提案された情報交換事項「①PFAS（PFOS、PFOA）の検査状況について」、「②水道料金等の重複払い（過誤納）対策について」、「③水道料金等の未収金対策について」、「④水道整備・管理行政の国交省移管とウォーターPPPについて」、「⑤電子納品された成果品の検査方法について」、「⑥水道技術管理者資格取得講習会実務研修の受入れ事業体の負担軽減について」の6題について、それぞれ情報交換を行った。

最後に、水道行政の移管に向けた検討委員会の活動状況について、事務局から報告を行った。



水道技術者研修会（Bコース：11月29日～12月8日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年以上）の方々66名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「導・送・配水施設」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「水源・取水・貯水施設」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「漏水防止実習」、「水質管理（概論）」、「水質管理（浄水処理・送配水）」、「水道の危機管理」、「給水装置」について研修を実施した。

また、研修会初日に行われたグループ別ディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

第1020回会誌編集委員会（11月30日）

本誌12・1月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。



配管設計講習会（関西会場：12月6日～8日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々49名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。